

会 派 代 表 質 問

太宰府市民ネット

むらやま ひろゆき
村山 弘行 議員

・計画的なまちづくりの推進について

問

（仮称）J R太宰府駅の設置実現を

Q

市は、平成25年3月に条例改正を行い、佐野東地区まちづくり構想検討委員会を附属機関として設置し、昨年11月までの間に計7回の検討委員会を重ねて一定の結論を出した。市はこの検討委員会の方針を踏まえ、庁議、部長会議、さらに経営会議の中で意思確認を行い、これを市の基本的な方針と決定し、前市長、前副市長も地元への説明・協議を行ったところである。民間主導という方針であるが、市がどれだけのことをやるのか、また新駅は要らない考えなのか市長に伺う。

A

市長（仮称）J R太宰府駅につきましては、佐野東地区まちづくり構想においても重要な要素としております。（仮称）J R太宰府駅を含む佐野東地区のまちづくりは、第五次総合計画において整備を検討すべき地域と位置づけており、民間主導を基本とした周辺のまちづくりを含めて進めるものと考えております。

議会を傍聴してみませんか

9月定例議会の日程（予定）

- 9月 2日(水) 本会議(提案理由説明) 決算特別委員会
- 4日(金) 本会議(質疑・委員会付託)
- 8日(火) 総務文教常任委員会
- 9日(水) 建設経済常任委員会
- 10日(木) 環境厚生常任委員会
- 14日(月) 本会議(一般質問)
- 15日(火) 本会議(一般質問)
- 16日(水) 本会議(一般質問予備日)
- 18日(金) 決算特別委員会
- 24日(木) 決算特別委員会
- 25日(金) 決算特別委員会(予備日)
- 29日(火) 本会議(報告・質疑・討論・採決)

(本会議は51人、委員会は12人まで傍聴できます)

日本共産党太宰府市議団

藤井 雅之 議員

- ・子育て支援の推進について
- ・防災・消防体制の整備充実について
- ・学校教育の充実について
- ・観光基盤の整備充実について
- ・市民参画の推進について
- ・市民のための行政運営について
- ・子ども条例の制定について
- ・中学校の図書司書の配置について
- ・子ども医療費の助成拡大について

問

早急な待機児童解消への取り組みを

Q

4月に、ごじよう保育所が110人の定員増で開園となり、待機児童の解消につながるとされてきたが、保育所に入れなかった子どもが120人を超えていると聞いている。その実情をどう捉えているのか。また、今後の待機児童解消に向けての対策について伺う。

A

市長 定員増に努めているが、女性の社会進出と潜在的な保育ニーズにより、待機児童の解消に至っていません。今後は、ごじよう保育所の定員まで入所が可能となるよう、保育士の採用に努めるとともに、既存の私立保育園の改築等の際、定員増について協議していく予定です。また、本年4月から始まった子ども・子育て支援新制度に伴い、私立幼稚園の認定こども園への移行や、届け出保育施設の認可保育所等への移行の申し出があった場合は、認可基準等を十分精査し、認可施設とすることも考えています。

真政会

門田 直樹 議員

- ・高齢者福祉の推進について
- ・防災・消防体制の整備充実について
- ・生涯学習について
- ・学校教育の充実について
- ・情報の共有化と活用について

問

配食サービスの安全性は

Q

本市の配食サービス事業は、在宅生活支援充実のためであるが、利用者へ届ける車に弁当を積み替える場所が不衛生である。現在は西鉄都府楼駅前5号踏切横の県道高架下で行っているが、舗装されておらず風が吹くと土ぼこりが舞う。高齢者支援計画では、生活支援サービスの筆頭に配食サービス事業が載っており、栄養バランスのとれた食事を宅配するとしていますが、食の安全はどうなるのか伺う。

A

市長 同事業では、高齢の人暮らしの方などに夕食を配食することにより、食の確保とあわせて安否確認を行っており、現在1月1日からの3日間以外は配食サービスを行っています。食材確保及び食の安全性を十分に検討の上、信頼のおける事業者へ配食の委託を行い、配食業者と協議の上現在の場所に決まりました。ご指摘の雨、風、ほこり等の不衛生面は、簡易舗装で対応し、よりよい積み替え場所として公共施設などの利用を検討します。

公明党太宰府市議団

お ば た ま ゆ み
小 島 真 由 美 議員

- ・ 公約について
- ・ 高齢者福祉の推進について
- ・ 防災・消防体制の整備充実について
- ・ 計画的なまちづくりの推進について
- ・ 職員一人一人の意識改革について

問

主要政策実現への道筋を問う

Q

芦刈市長が選挙中に掲げていた政策について3点伺う。

- ①「ハコもの」の象徴である体育複合施設建設について。
- ② 中学校完全給食実現までの計画について
- ③ 外郭団体の責任者を公募するとして理由と今後の計画について。

A

市長 ①市長就任した日に現地を視察し、施工業者の既発注

量、用途変更が設計上困難なこと、多くの市民が期待していることなどにより、現在策定を急いでいる運用計画に基づいて建設を進めます。②教育委員会に中学校給食実現に向けた検討をお願いしました。③外郭団体責任者の選任に当たって、天下りや縁故人事と思われたいよう透明性を保つという意味で公募という表現を用いました。
教育長 ②市立学校給食改善研究委員会を改めて再開するために、事務作業を進める計画です。

宰光

す や ま よ し ひ さ
陶 山 良 尚 議員

- ・ 市長の公約について
- ・ 子育て支援の推進について
- ・ 文化遺産の保存と活用について
- ・ 観光基盤の整備充実について
- ・ 市民のための行政運営について

問

体育複合施設につき 計画通り建設を継続していくのか

Q

市長の議員時代の体育複合施設建設に対する発言、そして選挙での公約・訴えを聞くと、市長は体育複合施設には反対の立場であるということが明確である。

多くの市民の期待によって当選された以上、公約を守り責務を果たすのが当然と考える。
そこで、体育複合施設の建設について公約通り中止されるのか、市長の考えを伺う。

A

市長 市長就任の日から工事内容の見直しが可能か検証し、

庁舎内部での議論も重ね、その結果、施工業者における下請け等への発注は既に5割を超えるほど工事は進捗しており、工事を中止するのは現実的ではなく、他施設への変更も難しいことが分かりました。また、就任後、施設完成を心待ちにしている多数の方がおられることも分かりました。以上を総合的に勘案した結果、この施設は建設を進めていくべきとの結論に至りました。

太宰府市政改革の会

もり た ま さ つ く
森田 正嗣 議員

- ・ 市民参画の推進について
- ・ 防災・消防体制の整備、充実について

問

自治基本条例と市民参画の支援は

Q

本市を取り巻く社会情勢のもとで、どのような方向性を持った自治基本条例が望ましいと考えるか。

また、これからの地域コミュニティ活動に対する支援のあり方について伺う。

A

市長 社会情勢の変化や高齢化の急激な進行、地域活動の担い手不足など、多様で複雑化する課題に立ち向かっていくための仕組みが、協働のまちづくりです。市民と行政など、お互いの関係を再構築し、今後の市政を進めて行く上での規範となる条例になればと考えております。

これまでも地域づくり課において、職員1人が2校区ずつ担当して、活動支援を行ってまいりました。

今後は、地区公民館活動の活性化を支援するとともに、地域コミュニティづくりを推進・支援してまいります。

太宰府新政会

は せ が わ こう せい
長谷川 公成 議員

- ・ 高齢者福祉の推進について
- ・ 防災・消防体制の整備、充実について
- ・ 生涯学習の推進について
- ・ 学校教育の充実について

問

地域包括支援センター跡の活用は

Q

地域包括支援センターの充実については、高齢者の皆さんの利便性を高めるため、6月にいきいき情報センター1階に移転するとある。移転について一定の評価はあるが、地域包括支援センターが移転した跡地の利用について伺う。

A

市長 現在の向佐野にある地域包括支援センターは、地域包括支援センター「あす・ラック工房」の作業所等が使用しています。この地域包括支援センターは6月下旬からより利用しやすく、交通の利便性の高いいきいき情報センター1階に移転します。

センター跡の1階部分は地域活動支援センター「あす・ラック工房」、協働わーくすエ・コラボに貸し出す予定です。また、2階部分については、体育協会など関係団体と協議しながら検討していきます。



Q 全小中学校の空調設備の設置について4点伺う。

- ①なぜ予算項目名を各校舎等補修工事としたのか。
- ②この事業の特定財源がなぜ地方債のみなのか。
- ③工事施工の際は学校ごとに地場業者に分割発注すべきと考えるがどのような考えか。
- ④空調設備の設置工事の時期は。

A 総務部理事 ①例年、学校施設の工事関係予算は、各校舎等補修工事において一括計上しております。

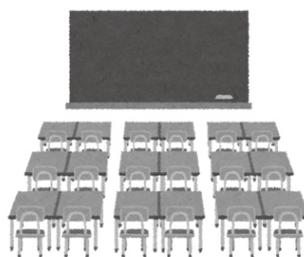
- ②文部科学省所管の学校施設環境改善交付金を要望しておりますが、国の予算が大幅に縮小されたことから結果的に空調に関して採択されなかったため、地方債のみになりました。
- ③地域経済の活性化を考慮し、複数校区に分割して地場業者に発注する方向です。
- ④空調機器や技術者の確保が厳しく、工期の設定に苦慮していますが、夏休み期間中の完成を目標にしています。

問 早急な空調設備設置を

上 議員

質問項目

- ◇全小中学校の普通教室への空調設備の設置について
- ◇東小学校教室の窓の網戸設置について
- ◇体育複合施設の建設について



Q 公共交通の利便性の向上と利用促進の観点から2点、市長の見解と市の方向性を伺う。

- ①観光に起因する交通渋滞が市民の負担となっている現在、具体的な対策案はあるのか。
- ②公共施設へのアクセスを改善し高齢者の外出を支援するため、コミュニティバスをまほろば号を隣接市境をまたいで運用する可能性は。

A 市長 ①今年度は歴史と文化の環境税事業として渋滞発生の原因等の調査研究を行います。

- ②隣接市境への乗り入れ等については、潜在的なニーズのあることは市としても把握しています。現地調査も行いますが、現時点では課題が多いと判断していません。なお今年度より、筑紫地区において各市町担当課による情報共有、意見交換を行うことになっていきます。

問 利用しやすい交通システムづくりに向けて

堺 議員

質問項目

- ◇計画的なまちづくりの推進について
- ◇地方創生について





問 友好都市との姉妹校交流は

みやはら 宮原 伸一 議員

Q 国際交流・友好都市交流の推進の中で、奈良市、多賀

城市、中津市と友好関係を結び、相互訪問等の交流を進めていくとのことだが、国際理解教育については述べられなかったので伺う。

水城西小学校、太宰府西小学校、太宰府西中学校では、本市と姉妹都市提携を行っている扶餘郡の百済初等学校、百済中学校と、生徒の相互訪問を行っている。その中で、生徒たちは、韓国の風習、教育の現場を体験し、貴重な文化交流をしている。このように築いた韓国との姉妹校交流の今後について伺う。

A 市長 国際理解教育の推進を支援する立場で、国際交流協会等と連携を図りながら、姉妹校交流を推進して行きたいと考えております。

教育長 現状では、近年、互いの学校のスケジュール調整の不調等で、交流事業が難しくなっています。今後は、交流のあり方を含めてこれらの課題をクリアしながら進めてまいります。



質問項目

◇国際交流・友好都市交流の推進について

Q 保育所の一時預かり事業について3点伺う。

①ごじよう保育所の一時預かり事業は実施できているのか。

②太宰府市子ども・子育て支援事業計画では、年度内に新たに2か所での一時預かり事業が計画されている。それはどこで、いつ予定されているのか。

③市内どこに住んでいても利用しやすい保育サービスの配置のあり方は、どのように計画されているのか。

A 部長 ①現在、保育士の確保に苦慮しており、一時預かり保育及び定員までの入所に対応できていません。

②これまで子育て支援センターにおいて預かり事業を行っていますが、新規には大佐野にある「ゆたか保育園」で事業実施を予定しています。

③既存の保育所では定員以上の保育を行っており、保育室の確保が難しく、新設する保育所でも実施してきませんでした。待機児童解消を最優先課題としており、今後現場の状況を確認しながら取り組んでまいります。



問 利用しやすい保育園サービスの

かさり 笠利 毅 議員



質問項目

- ◇小中学校のエアコン設置について
- ◇保育園の一時預かり保育について
- ◇市民プールの運営について
- ◇いきいき情報センターのトレーニングジムの管理委託者変更について
- ◇市のホームページ上の情報提供のあり方について



問 市民が満足する
公共施設であるために

木村 彰人 議員

Q 市役所には、サービスを等しく提供し、市民の満足度を最大限に高めることが求められる。太宰府市では地域包括支援センターが、いきいき情報センターへ移転したり、ごじよう保育所が新設・移転したりと、公共施設の再配置が行われている。そこで、公共施設の現状を含め、その再配置計画についての考え方と、進行状況について伺う。

A 総務部理事 殿
しい財政状況の下、少子高齢社会における多様な市民ニーズに対応するため、現在、公共施設等総合管理計画の策定を進めています。

この計画は、総務省の指導の下、地域の実情にに応じて総合的かつ計画的に公共施設を管理するためのものであり、平成28年度末を目途に策定を進めています。この計画により、将来の公共施設のあり方が明らかになるかと考えております。



質問項目

- ◇公共施設の再配置計画について
- ◇体育複合施設の多機能化について



問 体育複合施設建設の今後は

藤井 雅之 議員

Q 体育複合施設に関連して、アリーナの空調設備や移動式観覧席など、予算の増額が見込まれる設備について伺う。

A 市長 施設の活用計画並びに利用料金の設定等見直しを7月中旬には終える予定です。その上で、予算の増額が必要な場合は、所定の手続きをとります。またランニングコストについても、利用計画に照らし再試算を行う予定です。

また、たびたび議論になってきた、施設のランニングコストの見通しと、周辺道路の渋滞対策について伺う。

渋滞については、主催者と事前打ち合わせを行い、進入路や退出路を参加者へ通知し、大会当日は車両誘導と併せて公共交通機関の利用もお願いします。なお、長期的な交通対策としては、佐野東地区のまちづくりで対応していきます。



質問項目

- ◇体育複合施設について
- ◇国民健康保険税について
- ◇同和対策事業について
- ◇シルバー人材センター前の踏切について